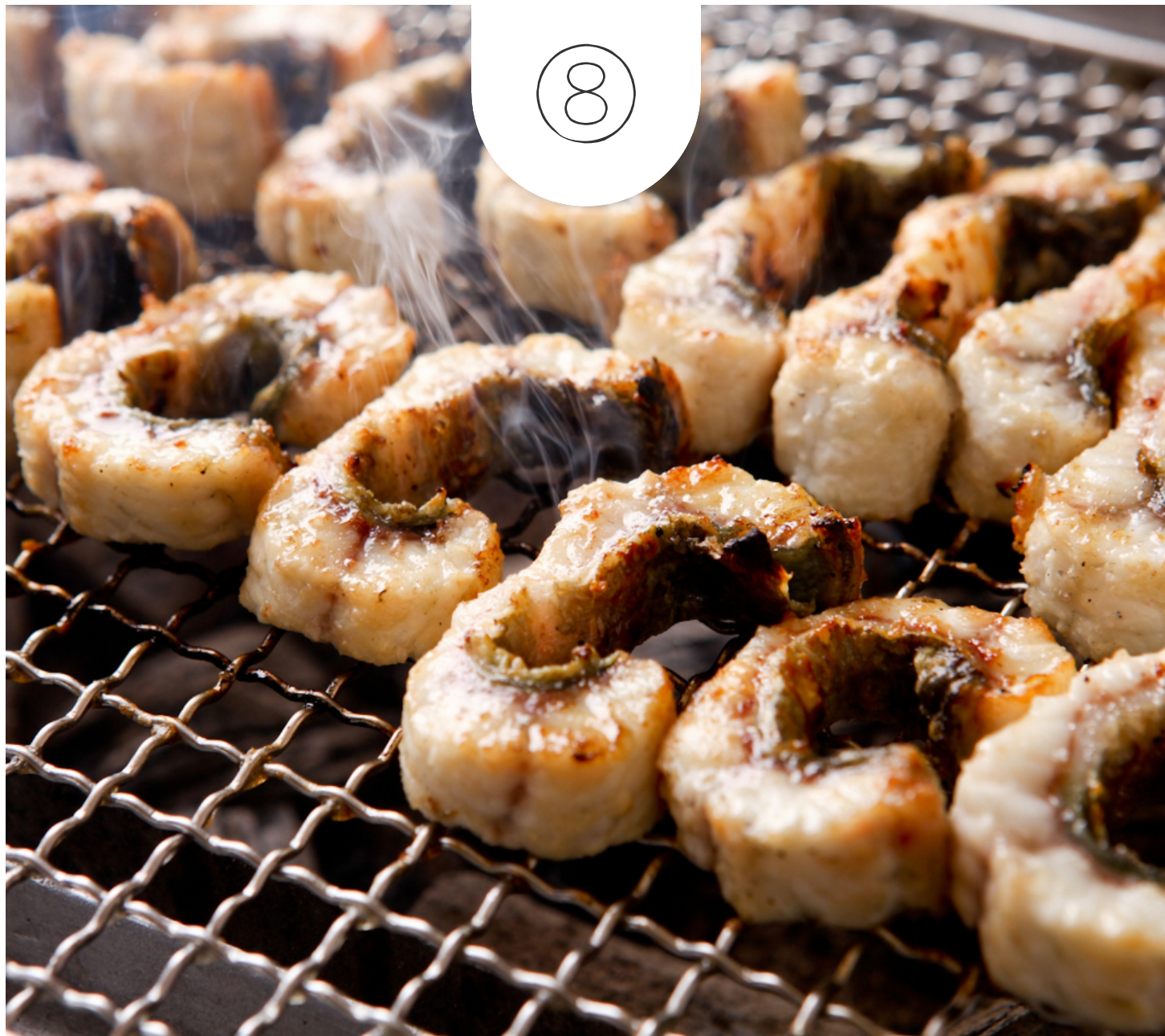


8



# 生き生き韓国文化

## News Focus

8月の韓国文化

伏日

8月の韓国語一言

이열치열

姉妹都市情報

坡州：韓国でウナギを食べる方法

交流員の日本生活

すみませんとカムサハムニダ

# 8月の韓国文化

## 伏日

韓国には「伏日(ポンナル)」とあって、暑気払いのために参鶏湯(サムゲタン)などの滋養食を食べる日があります。いわば韓国版の「土用の丑の日」です。

韓国の伏日は3日あり、日程は毎年異なります。3日の伏日は早い日付から「初伏(ちょぼつ)」「中伏(チュンボツ)」「末伏(マルボツ)」であり、3日の伏日を合わせて「三伏(サムボツ)」と呼びます。ちなみに2023年の初伏は7月11日、中伏は7月21日、末伏は8月10日になります。三伏は毎年7月～8月のいずれかの日に該当し、1年の内でも非常に暑い時期であるため、この時期のうだるような暑さを「サムボットウィ」と呼んだりもします。

昔から民間では、伏日の暑さに負けないよう、栄養のつくものを食べる習慣がありました。今日でも滋養食を食べる習慣は残っていて、毎年伏日にはサムゲタン専門店は大盛況です。昼食時には、店の外にまで長い行列ができるほどです。また、企業の社食や学食などでも、伏日には特別メニューとしてサムゲタンが出されることもあります。

### 伏日のグルメ、人気ランキング



サムゲタン



ウナギ



スイカ



## 坡州：韓国でウナギを食べる方法



土用の丑の日になると食べるウナギ。実は韓国も伏日になるとウナギを食べる人が多いです。佐世保市の姉妹都市である韓国の京畿道坡州市は臨津江（イムジンガン）という大きな川が流れ、昔からウナギが有名です。特に臨津江は潮の干満差が大きく、活きが良く美味しいウナギがたくさん獲れるところです。今でも坡州に行くと数多くのうなぎ屋を見つけることができます。

まるで焼肉みたいな感じ？！

但し、韓国と日本はウナギの食べ方がそれぞれ違います。韓国はテーブルに用意された鉄板で白焼き、または蒲焼きにして、韓国焼酎やビールなどのおつまみとして味わうのが一般的です。日本のうなぎ料理のように、ご飯と一緒に食べる、うなぎ重やひつまぶりはありません。



その以外にも  
サワガニやメフグが  
有名です！

# 8月の韓国語一言

イ ヨ ル チ ヨ ル

## 이열치열

直訳：以熱治熱(熱を以って熱を治す)

暑気払いの方法として、韓国の生活に根付いている四字熟語。暑い夏にあえて熱い料理や辛いものを食べて汗を流し、夏バテの気だるさや食欲不振を吹き飛ばそうという考え方です。代表的な食べ物にサムゲタンがあります。

### [例文]

ヨルメヌン サムゲタンウロ イヨルチヨルイ チェゴダ  
여름에는 삼계탕으로 이열치열이 최고다.

夏にはサムゲタンでい열치열するのが最高だ

# 交流員の日本生活

## すみませんとカムサハムニダ



エレベーターで誰かが開ボタンを押してくれたら、皆さんはどう答えますか？韓国人である私はいつも「ありがとうございます」と言いながら降りますが、日本の方々は「すみません」と話す方が多いですね。どちらも感謝の気持ちを伝えていますが、その伝え方はそれぞれですね。それはなぜでしょうか？

それには、相手を配慮するそれぞれの文化の違いが隠されていると思います。韓国で相手を配慮する方法は相手にプラスをあげることです。感謝の気持ちを伝えることから、相手を立てることが礼儀になります。一方、日本は相手にマイナスをあげないことが大事ですね。このような文化の違いは、お互いの言語にも影響を与えました。謙譲語が発達した日本に反して、韓国は尊敬語が発達し、謙譲語の種類はごく少ないです。